

昭和六年十月二十八日  
第一種保存  
第九

廿八



十月十七日付決定

第九四二號  
第五七〇號

昭和六年十月廿三日  
昭和六年十月廿八日  
昭和六年十月十九日  
昭和六年十月三日

淨者  
書印  
立案  
立案

校者  
合印

電話 七四三

監督局長

次官

參與官

政務次官

大

京阪神單軌高架鐵道  
間鐵道敷設願却下件

大阪東區區令重町一京都重上京區長條大橋附近  
神戸市天王橋附近

112

49

3

主務局

一月系

金 道 千

大阪府經由  
番號 道第四六八號 案

京阪神單軌高架鐵道株式會社  
發起人 內藤義雄

外三十八名

昭和四年五月十日附申請鐵道敷設ノ件  
聽居ケ難シ  
年 月 日  
大臣

却下理由

本願ハ目下ノ交通狀態ヨリ視テ其ノ必要認メ難キ  
ニ依リ伺案ノ通却下可然

一先

備考	七其他	六許否 可然詮議相成度	五鏡願ノ有無 別紙ノ通 京神急行電氣鐵道(石井博外十名) 京神南邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神西邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神東邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神北邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神南邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神西邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神東邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神北邊電氣鐵道(石井博外十名)	四他鐵道軌道 又ハ自 動車ノ影響 少クモ影響ハ見ル 京神急行電氣鐵道(石井博外十名) 京神南邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神西邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神東邊電氣鐵道(石井博外十名) 京神北邊電氣鐵道(石井博外十名)	三事業ノ効用 尚其時期ニアラスト被認	二事業ノ成否 成業覺束キ様被認	一申請者ノ 資産信用 事業遂行ノ能力不充分ト被認	知事 副申ノ要旨	出願 大坂府 6.10.10 6.17.27 6.27.30	鐵道
								京阪神單軌高架鐵道 發起人内藤義雄外三十八名	起點 大坂市東區川合里町	經過地 西成郡葛島郡 乙訓郡船場郡

四五三收受

49

(次 第)

(照會通牒事項裏面)

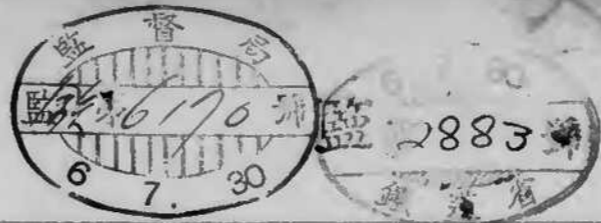
<p>件名 大板市今里町金葉山 京都市七條大橋東詰 神戸市平野天五橋 同鐵道 敷設件</p>		<p>事項要領(申請、報告、届出、回答、追申)</p>		<p>出願線路四調製有之矣</p>	
<p>知事意見</p>		<p>一、申請者(印)より(發起人總代理署名印)より 一、發起人(發起人總代理)ニ對スル 考 査 任 務 全 部 購 本</p>			
電氣	可	車輜	可	土木	可
通照牒	會	通照牒	會	通照牒	會
擔任	主査	擔任	主査	擔任	主査
<p>業務課長 免許 可 通照牒 擔任 主査</p>		<p>會計 可 通照牒 擔任 主査</p>		<p>技術課長 可 通照牒 擔任 主査</p>	
<p>總務課長 受付昭和 調了昭和 年 月 日</p>		<p>受付昭和 調了昭和 年 月 日</p>		<p>受付昭和 調了昭和 年 月 日</p>	
<p>道 省</p>		<p>道 省</p>		<p>道 省</p>	

49

課

課

六三〇〇



道第四六八號

昭和六年七月二十七日

監督局長

大政府知事 柴田 善三

鐵道大臣 江 木 眞 殿

地方鐵道敷設免許申請ノ件訓甲

京阪神車軌高榮鐵道株式會社發起人内藤義雄外三十八名ヨリ標記ノ件申請ニ付調査  
候座左記ノ通ニシテ向京都兵庫兩府縣知事ニ於テモ別紙ノ如キ意見ニ有之候條可然  
御座候相成度此致訓申候也

追而本紙ハ昭和四年六月十八日付道第四六八號ヲ以テ本願企業目録見ハ地方鐵道  
法第三條ニ概觸スルニ付地方鐵道起業ト認メ難キ旨訓申ノ上及進達置候處同年十  
二月同法ノ改正セラレタルニ依リ今同意見ヲ具申スル次第ニ有之向願書ハ業ニ進  
達済ニ有之候條共各年十二月二十九日監報號外第三號ヲ以テ御通牒ノ次第モ有之

關係書類ト同時ニ提出候候ニ付申論候

記

一、申請者ノ資産及信用程度  
別紙調査ノ如ク發起人甲二、三ノ者ヲ採クノ外ハ例レモ資力貧弱ニシテ且ツ斯ノ  
種企業ニ經營ヲ有スル者之シキヲ以テ事業遂行ノ能力不充分ト被認候

二、事業ノ效用

本企業ハ全線業任ヲ以テ線路ヲ支持スル熱心鐵道ニ依リ京都、大阪、神戸三都市  
ヲ一系統ヲ以テ進達セントスルモノナルモ本區間ニハ國有鐵道東海鐵道線ノ外阪  
神電氣鐵道或神戶行電線及京阪電氣鐵道等幾多ノ既設線存シ又阪神間ニハ業ニ國  
道ノ改築ヲ見京阪間野線道路ノ開設實現モ遠カラサルモノアル等 京阪神三都市  
間ノ交通機關ハ漸ク完備ノ域ニ近キモノト被認候

蓋シ本企業ハ是等三都市ヲ直達連絡ニ於テ自其ノ運輸ノ機能ヲ興ニスルモ斯ノ  
種企業ニ付テハ昭和四年六月二十九日監第二二一二號ヲ以テ免許セラレタル京阪

神高速度電線アルヲ以テ自下交通快順及近キ將來ニ於テハ本願建設ハ尙其ノ時期  
ニアラサルモノト被認候

三、事業ノ成否

本願線路ハ神戸、大阪間ニ於テ阪神急行電線神戸線ト近接併行セルヲ以テ全線ノ  
存在スル以上其ノ沿線附設ニ對シテル效用見ルヘキモノナク又大阪、京都間線路ハ  
概不淀川石岸ニ沿ヒ通達スルヲ以テ治水上重大ナル關係ヲ有スル而已ナラス沿線  
土地濫潤ニシテ住宅地ニ過セサルヲ以テ濫ニ開發ノ見込之レク而モ現下ノ如キ經  
濟界況衰ノ折柄本願ノ如キ大事業ハ到底所期ノ業績ヲ擧クルコト困難ト被認且  
ツ京阪神間既設電線ノ營業ノ實績ニ徴シテ勞成業ノ見込覺東ナキ被認候

四、他ノ鐵道軌道線路又ハ自動車ニ及ボス影響

本願開設ノ曉ニ於テハ京阪神間既設電線ニ對シテ多少ノ惡影響ハ免レサルヘク既中  
阪神急行電線ニ對シテハ和富ノ打撃ヲ與フルモノト被認候尙富府管内吹田町高槻  
町間ニハ府縣道ニ依リ米台自動車ノ經營有之本願線路ノ一部（自起點六哩 間）  
（至全十二哩四十哩 間）

大阪府

ト併行可致候待其共ノ運轉ノ機能ヲ與ニスルヲ以テ之カ家ル影響ニ付テハ特ニ重  
視スルノ要ナルヘクト被認候

五、企業ノ發展

別紙調査ノ通

六、本願御免許ノ御見込ノ場合ハ大阪中都市計畫事業ト重大ナル關係ヲ有スルヲ以  
テ採メ都市計畫地方委員會へ御諮問相成度

兵弓土軌第六六號八

昭和六年五月十四日

兵庫縣知事

大阪府知事殿

地方鐵道敷設免許申請，件

客年五月八日附道房四六八號ヲ以テ特照會相成候京阪神  
單軌高架鐵道株式會社發起人有馬賴寧外三十八名申請  
標記，件當廳，意見左記，通ニ有之候條此段及回答候  
也

追而本縣内ニ住所ヲ有スル者，身元調書及内務大臣報告  
用圖面別紙添附致置候

大阪府

記

一、事業，效用

本願線路ハ本縣管内ニ於テ大体阪神急行電鉄神戸線，北  
側ニ之ヲ並行シ敷設セムトスル計畫ナルニ付テハ今線ノ存在ス  
ル以上沿線ニ對スル效用ノ見ルヘキモノナク神戸京都間及神戸  
大阪<sup>間</sup>交通ニ對シテモ阪神急行電鉄神戸線，阪神電氣鐵道  
本線及阪神國道線，各營業線アリ尙今社神戸岩屋線，岩屋  
尼崎間，尼崎野田間各特許線ヲ連繫敷設セムトスルマリ京  
阪神高速電鉄，免許線アル等ヲ以テ目下ノ状態及近キ  
将来ニ於テハ本願線路ハ全然敷設ノ必要無之モノト被認

二、事業，成否

本願ハ全線梁柱ニ依リ線路ヲ支持スル所謂懸垂式鐵道トシテ  
時速八十哩ノ高速電鉄ヲ以テ運行セムトスルモノナルニ起巨九哩



附近以西ノ線路ヲ豫測圖ニ示ヌカ如キ多数ノ急曲線ト爲スハ運轉上並線路維持上幾多ノ支障アリト被認且線路ハ神戸市及阪神間地方ニ於ケル風致上重要ナル地點ヲ通過スルノミナラス全線梁柱式ヲ以テ線路ヲ支持スル工法ハ運轉ノ際ニ於テ騒音激シキモト被認神戸西宮尼崎各都市住宅地帯ヲ如斯工法ニ依リ敷設スルハ不適當ト認ノラレル而已ナラス阪神急行電鉄阪神電氣鉄道等ノ既設電鉄收入並營業費ノ実績ニ徴スルニ收入見積ハ過大ニシテ營業費過少ト被認ヲ以テ到底豫期ノ成績ヲ擧ケ難ク到底成業ノ見込ナキモト被認ム

大阪府

四、競願關係  
別紙調書ノ通

Blank lined area for notes or additional text.

五監第ニ八一〇號

昭和五年六月十三日

京都府知事

大阪府知事 殿

京阪神軍軌高架鉄道敷設免許申請ノ件回答

昭和五年五月八日道第四六八號ヲ以テ商議相成候京阪神軍軌高架鉄道株式会社發起人有馬頼寧外三十八名申請ニ係ル標記ノ件右ハ京都大阪神戸ノ三都市ヲ連絡セントスル軍軌高架式ノ鉄道ヲ敷設スルモノニシテ京阪間、此ノ種起業ニ付テハ既設京阪電気軌道、新京阪鉄道等アリ亦既ニ免許セラレタルモノニ奈良電気鉄道大阪線(昭和四年

大阪府

六月二十六日監第二一〇六號免許)アリ尚京阪神間直通連絡スヘキ起業ニ関シテモ既ニ京阪神高速度電鉄免許線(昭和四年六月二十九日監第二二二二號免許)等アル今日現時ノ交通狀勢ヨリシテ到底其ノ兩立ハ經營上至難ナルヘク被認候ニ付可然御處理相成度地方鉄道法施行規則第二條ニ関スル調査書省略右意見回答候也



	戶主	商	會	會	地	會	非	非	非	非	非
	會	會	會	會	地	會	地	地	地	地	地
	三九歳	七三歳	五三歳	六六歳	四六歳	五六歳	三六歳	五八歳	五六歳	五六歳	五六歳
	不詳	不詳	不詳	不詳	無	無	無	無	無	無	無
	五四五	三二八	一九七	二九八	二二〇	一一〇	二六〇	一六六	二六〇	一六六	二六〇
	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
	三根忠作	角田俊雄	武蔵於菟	模地素之進	内野幸雄	模尾千三	行松韓右衛門	木村作務	小山輝次官	平野精一	小笠原金三官
	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳

大阪府

競願調書 (大阪府)

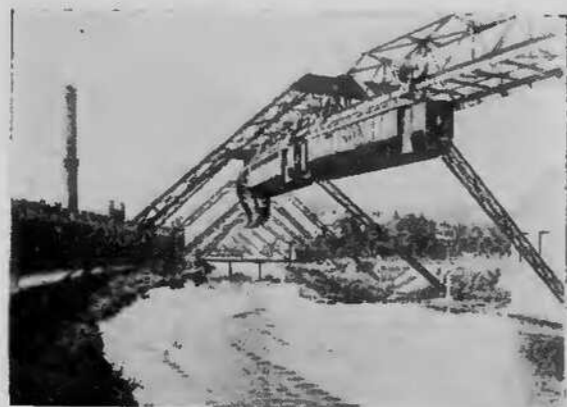
事業者	出願區間	願書受理年月日	備考
京阪神間軌高築鉄道 <small>株式會社</small> 内藤義雄外三人名 <small>發起人</small> 京神急行電氣鐵道會社 <small>發起人</small> 石井淳外十名 京神高築電氣鐵道株式會社 <small>發起人</small> 四方田保外八名	第一線 <small>自大阪市東海側已合町 至京都市下京区七条大橋西詰</small> 第二線 <small>自一線二河 至神之市平野全橋附近</small> 自京都市下京区四條通 至神之市上野 自神之市上野 至京都市下京区東小路町	昭和四年五月廿日 昭和三年六月廿日 昭和四年七月九日	本願 地方鉄道法ニ準據 昭和六年四月七日京都府 府リ進達 地方鉄道法ニ準據 兵庫公ニ目下調査中 地方鉄道法ニ準據

自之  
別分記不業

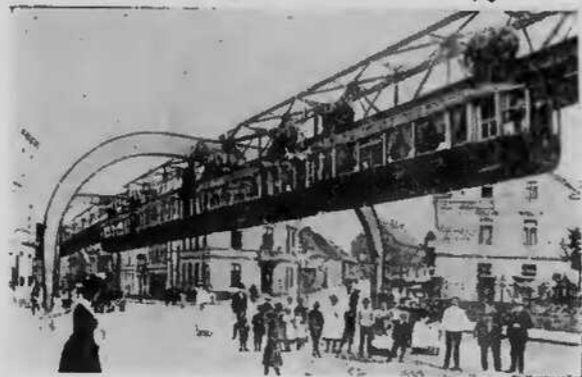
大阪府

道鐵式軌單空架式ンゲンラ・ンダイオ

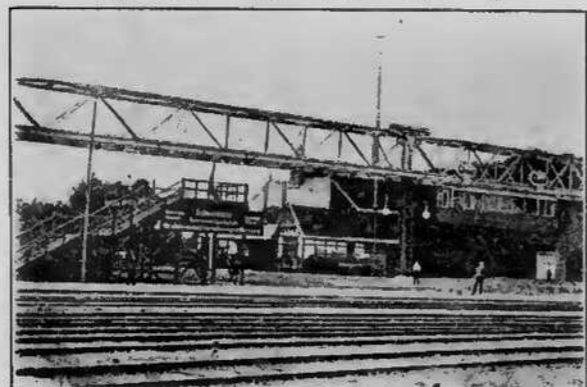
織 組 形 字 A



織 組 形 灣



織 組 柱 單 央 中



京阪神單軌高架鐵道免許申請書

起 業 目 論 見 書  
 敷 設 費 用 概 算 書  
 營 業 上 ノ 收 支 概 算 書  
 假 定 路 線 圖 欸 書

京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請書

今般私共儀地方鐵道法ニ則リ株式組織ヲ以テ歐州ニ於ケル最新式ノ交通機關中多  
年實驗ヲ經テ最モ良好ナル獨逸オイゲン、ランゲン式架空單軌式電氣鐵道ヲ敷設シ  
京都、大阪、神戸間ヲ一時間八十哩ノ最高速度ヲ以テ短時間ニ輸送シ一般公衆ノ便ヲ  
謀リ度別紙起業目論見書敷設費用概算書、運輸營業上ノ收支概算書、假定款線路圖、相  
添へ京阪神單軌高架鐵道敷設免許ノ義申請仕候何卒特別ノ御詮議ヲ以テ御許可被  
成下度此段申請仕候也

追テ線路及設計ノ儀ハ御指揮御命令ニ從ヒ適宜變更可仕候

昭和四年五月於日

京阪神單軌高架鐵道株式會社

企業發起人

東京村書多摩郡井荻分大字上荻窪八五

伯爵 有馬 頼 實

東京市日本橋區通リ三丁目番地十二番

東京市日本橋區通リ三丁目番地十二番

大阪市天王寺区西高津中寺町十三番地

法學士 高平 賢次

大阪府北河内郡慶屋川所河北

津本友三郎

大阪府西淀川区大和田所一六五三番地

星 兼次

兵庫縣武庫郡新大社村森貝松ノ下四百番地

早川政太郎

兵庫縣伊丹郡大社村森貝

長野 占守 代内藤義雄  
東京府 高田町 雜司 五三〇

小林 常八 代内藤義雄  
東京府 荏原郡 日蓮町 中目黒 八八三

本間 恒治 本間  
東京府 市川市 芝生 三六番地

尾崎 重次郎 尾崎  
東京府 麻布区 霞町 十九番地

色川 邦治 色川  
東京府 日本橋区 北新町 貳番地

鶴岡 良助 鶴岡  
東京府 日本橋区 日本町 三番地

石井 清三 石井  
東京府 日本橋区 日本町 三番地

仲佐 安藏 仲佐  
東京府 市川区 佃島 町 十六番地

明川 邦治



東京市京橋区南飯田町七番地

増田孝夫

東京市京橋区築地三丁目九番地

貝塚啓一郎

東京市世田谷区神宮寺三丁目一七番地

土方雄吉

東京市牛久保区戸川町五番地

天理勉三郎

東京府北豊島郡滝野川町三丁目五番地

川口雨三郎

東京市牛久保区市本町七丁目九番地

有松暉

東京府荏原郡入新井町新井宿五丁目番地

河野善一

東京府北豊島郡高島町四丁目番地

吉原居正

神奈川県三浦郡区五丁目根三丁目番地

角田俊雄

埼玉縣北足立郡浦和町四四九九

新藤於菟

東京府荏原郡の新井町新井宿五丁目三番地

横地素之進

東京府世田谷区東山町五丁目番地

中井常小

書信

神奈川縣足柄下郡大宮村板橋六三

由 幸 代内藤義雄

東京府豊島區新井場六 誦訪一七八

大阪府天王寺區 代内藤義雄

大阪府生野區 代内藤義雄

本村 代内藤義雄

神奈川縣 代内藤義雄

東京市本郷區駒込林町一七五 代内藤義雄

平野精一

東京市牛込區戸山町於五五地

小笠原龜三 代内藤義雄

東京府荏原郡大崎町桐ヶ谷六〇〇 代内藤義雄

原口長太 代内藤義雄

神奈川縣鎌倉町小舟三九五

進藤光之助 代内藤義雄

東京府荏原郡日里町中川三〇四二五 代内藤義雄

三根忠作 代内藤義雄

右參拾八名發起人統代兼

再藤義雄

鐵道大臣小川平吉殿

京阪神單軌高架鐵道株式起會社企業目論見書

第壹 事業ノ目的

一、水陸ノ空間ヲ利用シ架空單軌式電氣鐵道ヲ敷設シ最高速度電車ヲ運轉シ運輸ノ業ヲ營ム

第貳 社名

一、京阪神單軌高架鐵道株式會社ト稱シ本社ヲ大阪市内ニ設置ス

第三 資本金

一、資本金參千萬圓トシ之レヲ六拾萬株ニ分テ壹株金五拾圓トス

第四 線路

一、第一線 大阪市東淀川區今里町ヲ起點トシ南下シテ新淀川右岸ニ沿ヒ柴島水源  
地ノ東ヲ通り西成郡大道村辻堂ヲ通過シ三島郡鳥飼村三箇牧村大塚ヲ經テ京都  
府乙訓郡大山崎村地内ヲ通り桂川ヲ橫斷シ其左岸ヲ北上シ紀伊郡淀町ヨリ一直

線ニ伏見町ノ背面下鳥羽村ニ出テ高瀬川ヲ溯リ上鳥羽村櫻島附近ニテ鴨川ヲ橫  
斷シ鴨川右岸ニ沿ヒ北上シテ京都市下京區七條大橋西詰ニ達ス

一、第二線 大阪市東淀川區今里町起點線ニ連續シ東淀川區内ヲ北ニ走り猪名川及  
藻川ヲ橫斷シ兵庫縣川邊郡園田村ニ至リ藻川ニ沿ヒ伊丹町南端ヲ通過シ西走シ  
テ武庫郡武庫村字常松附近ニテ武庫川ヲ橫斷シ甲東村地内ヲ通過シ大社村地内  
甲陽園及苦樂園ヲ通過シ精道村ニ出テ山芦屋ヲ通り本山村岡本梅林下ヨリ住吉  
村御影町西灘村等ノ各山手ヲ經テ神戸市ニ入り神戸市上筒井布引貯水地下諏訪  
山麓奥平野淨水池北方ヨリ天王谷ニ至リ新湊川支流上ヲ南下シテ天王橋附近ニ  
至ル第一線第二線總延長往復線五十五哩トス

第五 鐵道ノ種類及速力

一、架空單軌式電氣鐵道トシ最高速力一時間八十哩トス

第六 電力

一、他ノ電力會社ノ供給ヲ受ケ供給會社ノ名稱ハ追テ交渉ノ上上申ス  
變電所ハ追テ適當ノ地ヲ撰定シ出願ス

### 第七 費用概算

敷設費用概算及ビ營業上ノ收支概算ハ別表ニ於テ之レヲ説明ス

### 第八 設計概要

(一) 本鐵道ハ空中ニ架設シタル單軌條ニ沿フテ空間ニ運轉ス

(二) 陸上空間利用ノ場合ニ在テハ私設專用ノ空間ニ於テ河川横斷又ハ縱斷ノ場合ニ在テハ水面ノ空間ヲ運轉ス

(三) 水面空間利用ノ場合ニ在テハ支持柱ハ兩岸又ハ灣岸ニ鐵柱ヲ建設スルモノトス

(四) 「レール、レベル」ノ高サハ水面ニ在テハ滿潮時參拾尺ニシテ假リニ車輛ノ高サ拾壹尺三寸トセバ車輛底ト水面トノ間隔ヲ拾八尺七寸トス又陸上建設ノ場合モ

同一ノ高サヲ有セシム

(五) 他ノ鐵道横斷スル場合ニ在テハ上空ニ於テ横斷シ高架線ニ在テモ高架線上ノ空間トス若シ支障アル場合ニ在テハ高架線下ヲ掘下ケ「トンネル」式ヲ以テ専用軌道ヲ設ケ「グレート」ヲ緩ナラシム

(六) 本線支持法第一種A字形組織第二種灣形組織第三種中央單柱組織トス徑間六百一十九呎毎ニ大支柱ヲ設ケ貳拾呎以内ノ地堀ヲ爲シ基礎杭打ヲ充分ニシテ其上ニ十六呎ノ軀體コンクリート中ニ沓鐵物セル支柱ヲ組立埋込ミ太サ地上二呎角ニシテ地上ノ高サ三十呎ナリ此中間ニ小支柱ヲ每百呎ニ設ケテ安全ヲ期ス

(七) 陸上建設ノ場合ハ中央單柱組織ヲ採用シ交通繁盛ニシテ中央單柱ニ支障アル所及ヒ河川ノ空間利用ノ場合ハ灣形組織ヲ採用シ河川ノ幅廣大ナル場所ニハA字形組織ヲ採用ス

(八) 梁柱上ノ基礎工事ハ「オイゲン、ランゲン」式特長重復T字形組織トシ灣形組織A

字形組織ニ在テハ中央部ニ於テ中央單柱組織ニ在テハ左右兩端ニ軌條ヲ架設シ其間隔ヲ四米突トス

(九) 橫架材ハ軌條受「ガード」ト軌條トハ鐵板ヲ以テ連結シ其中間ニハ「アスファルトフェルト」又ハ「レツドブレイト」ヲ狹ミ音響ヲ減殺セシムルヲ助ク其軌條受ノ上ニ「ファルマン」型八拾封度軌條ヲ取付線路トス

(十) 電流ハ側斜吊鐵ニ取付ケ軌條面ト稍併行シテ設ケラレタル電車線ニ通シ車輛ニ備付ケタル「サーキュラーブラシユ」ニヨリ接觸シテ電働機ニ送ラル

(十一) 「グレード」ノ最急ナルモノヲ四十分ノ一トス

(十二) 電車體ハ長サ參七、五九呎幅六、五六呎ニシテ車壁ハ厚サ拾六分ノ壹吋ノ鋼板ヲ以テ覆ヒ内部構造ニ耳木片ヲ用ヒ線路電壓五百ボルト電働機ハ參拾六馬力貳個ヲ備ヘ「ウエスタンングハウス」式自働機ノ槓杆及「サアキットブリーカー」ノ槓杆並ニ普通制動機ヲ備フ

(十三) 車體ハ貳拾七呎ヲ隔テタル貳個ノ「ボーギー」ヲ以テ懸吊シ各車輛ノ直徑ハ參呎ニシテ「ボーギー」體ノアル所ハ(重心)軌條ヲ架セル梁柱ノ直下ニシテ其中心ニ灣曲シテ梁柱ト「ボーギー」體ノ間ナル凹所ハ僅カニ參拾貳分九吋(約二分參厘)ニ過ギズ車輪ヲシテ軌條ヨリ脱落ヲ得サラシム假令有ユル部分ニ破損ヲ生スルモ梁柱ハ堅ク「ボーギー」體ヲ保持シテ放スコトナシ

(十四) 乗客五十人ヲ滿載シタル車輛ノ重量ハ拾四噸ニシテ之レヲ内譯スレバ左ノ如シ

- 一、電働機貳個附屬品共 六、七四參磅
- 一、緩衝機並ニ橫梁付ボーギー貳個 三、九六〇磅
- 一、車體並ニ腰掛全部 壹貳、九〇參磅
- 一、乗客五拾人 七、七〇〇磅

是ニ因テ觀ルモ車體壹臺ノ總重量ヲ乗客ニ平均スルニ壹人ニ付貳百八拾貳卽チ

六百拾八磅ニ過ギス普通鐵道ニ在テハ重量貳拾噸以下ニ製作スルコトヲ得ス

(十五) 車輛ハ常ニ二輛乃至四輛連結ヲ以テ運轉ス線路ノ基礎ハ常ニ貳拾五噸車五輛連結運轉シテ尙ホ餘力アルモノトス

(十六) 停車場ノ設備ハ五輛連結昇降ニ便ナル施設ヲ爲スモノトス

(十七) 尙ホ詳細ノ設計ハ工事施行認可申請ノ際線路地勢考察ノ上具體的設計ヲ以テ申請セントス

# 敷設費用概算書

## 資本金參千萬圓

延長                      哩  
 複線                      哩  
 五十五哩  
 京阪神單軌高架鐵道

項	數	單價	金額	摘	要
測量及監督費	哩 55	圓 5,000	275,000,000	全線復線	
用地費	坪 103,200	108	11,145,610,000	線路停車場車庫工場事務所敷地	
建物移轉費	坪 3,600	100	360,000,000	建物參千六百坪	
本線土工費	哩 55	8,000	440,000,000		
本線梁柱電	哩 55	185,064	10,178,520,000	基礎ニ關スル一切ヲ含ム	
軌道費	哩 55	18,000	990,000,000	八十封度軌條取付費共	
停車場費	所 10	12,000	120,000,000	鐵骨亞鉛葺	
車輛費	輛 75	15,000	1,125,000,000	五十人乘鋼製	
建物費	坪 500	150	75,000,000	車庫工場變電所	
通信線路費	哩 55	1,000	55,000,000	本線鋼柱利用	
電力線路費	哩 55	13,000	715,000,000	本線鋼柱利用	
變電所費	キロ 1,000	300	480,000,000	建物敷地ヲ除ク	
障害物整理費	哩 55	500	27,500,000		
總係費			1,650,000,000		
豫備費			2,063,380,000		
創業費			300,000,000		
合計			30,000,000,000		
一哩當			545,454,000		





平面圖

其貳

京東南部

用墨色  
表示  
鐵道  
用紅色  
表示  
國道  
用藍色  
表示  
河川  
用綠色  
表示  
森林  
用黑色  
表示  
市界  
用白色  
表示  
町界

此圖係  
由東京  
市界至  
東京  
市界  
之距離  
以公里  
表示  
其比例  
尺為  
1:50,000

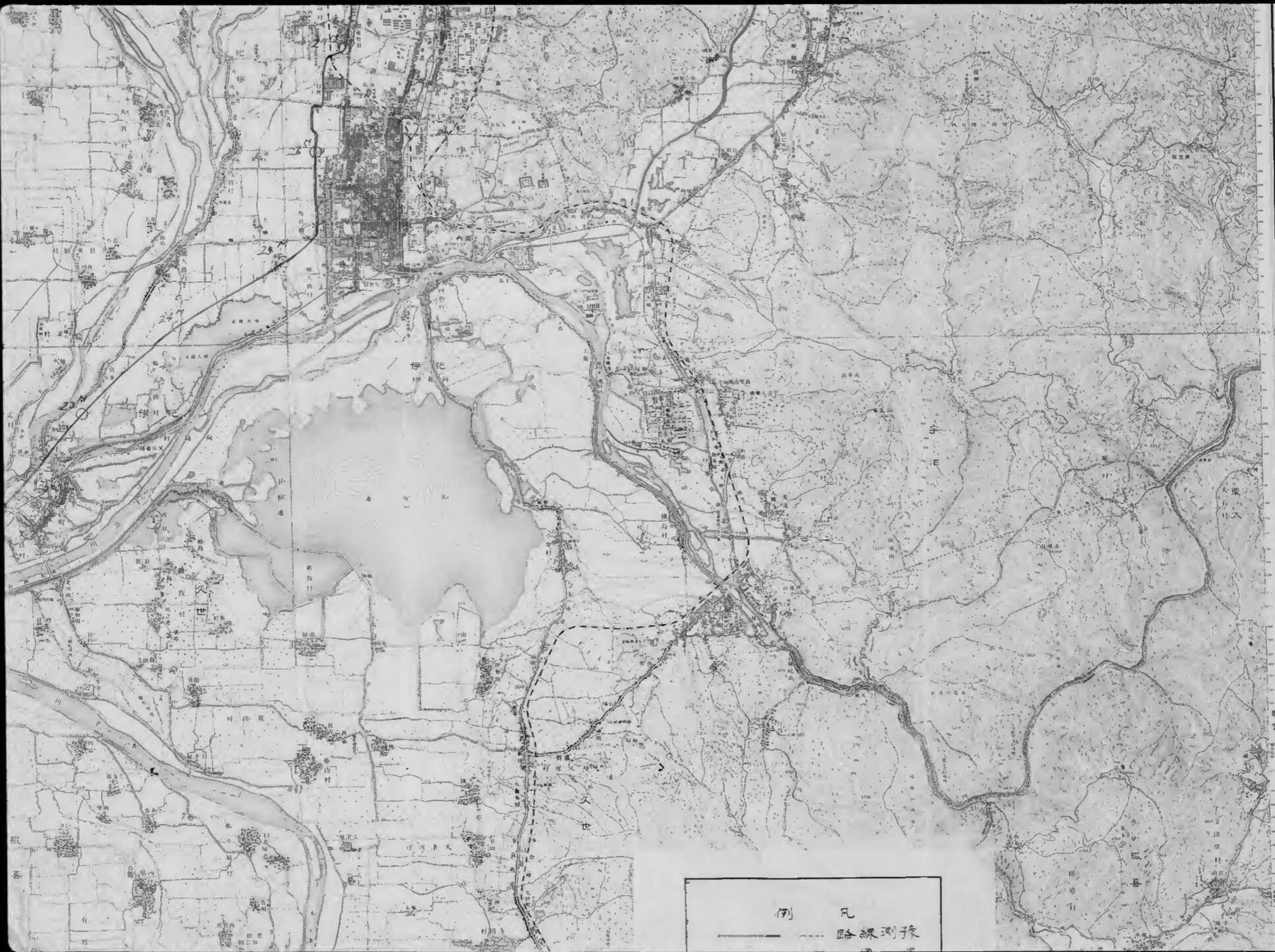


赤田

此圖係  
由東京  
市界至  
東京  
市界  
之距離  
以公里  
表示  
其比例  
尺為  
1:50,000

- 大正十四年十一月十五日印刷  
大正十四年十一月十五日發行  
大正十四年十一月十五日發行
- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 一、 | 二、 | 三、 | 四、 | 五、 | 六、 | 七、 | 八、 | 九、 | 十、 | 十一、 | 十二、 | 十三、 | 十四、 | 十五、 | 十六、 | 十七、 | 十八、 | 十九、 | 二十、 | 二十一、 | 二十二、 | 二十三、 | 二十四、 | 二十五、 | 二十六、 | 二十七、 | 二十八、 | 二十九、 | 三十、 | 三十一、 | 三十二、 | 三十三、 | 三十四、 | 三十五、 | 三十六、 | 三十七、 | 三十八、 | 三十九、 | 四十、 | 四十一、 | 四十二、 | 四十三、 | 四十四、 | 四十五、 | 四十六、 | 四十七、 | 四十八、 | 四十九、 | 五十、 | 五十一、 | 五十二、 | 五十三、 | 五十四、 | 五十五、 | 五十六、 | 五十七、 | 五十八、 | 五十九、 | 六十、 | 六十一、 | 六十二、 | 六十三、 | 六十四、 | 六十五、 | 六十六、 | 六十七、 | 六十八、 | 六十九、 | 七十、 | 七十一、 | 七十二、 | 七十三、 | 七十四、 | 七十五、 | 七十六、 | 七十七、 | 七十八、 | 七十九、 | 八十、 | 八十一、 | 八十二、 | 八十三、 | 八十四、 | 八十五、 | 八十六、 | 八十七、 | 八十八、 | 八十九、 | 九十、 | 九十一、 | 九十二、 | 九十三、 | 九十四、 | 九十五、 | 九十六、 | 九十七、 | 九十八、 | 九十九、 | 一百、 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
- 大正十四年十一月十五日印刷  
大正十四年十一月十五日發行  
大正十四年十一月十五日發行





縮尺 1:50,000  
 測繪 昭和十一年  
 陸軍省 陸軍部 陸軍測量部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍測量部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍測量部




例 凡  
 路線測陸

- 一、河流
- 二、道路
- 三、境界
- 四、地物
- 五、地名
- 六、注記
- 七、縮尺
- 八、編者
- 九、出版年
- 十、備考
- 十一、凡例
- 十二、索引
- 十三、地圖
- 十四、地形
- 十五、地質
- 十六、地勢
- 十七、地質
- 十八、地勢
- 十九、地質
- 二十、地勢
- 二十一、地質
- 二十二、地勢
- 二十三、地質
- 二十四、地勢
- 二十五、地質
- 二十六、地勢
- 二十七、地質
- 二十八、地勢
- 二十九、地質
- 三十、地勢
- 三十一、地質
- 三十二、地勢
- 三十三、地質
- 三十四、地勢
- 三十五、地質
- 三十六、地勢
- 三十七、地質
- 三十八、地勢
- 三十九、地質
- 四十、地勢
- 四十一、地質
- 四十二、地勢
- 四十三、地質
- 四十四、地勢
- 四十五、地質
- 四十六、地勢
- 四十七、地質
- 四十八、地勢
- 四十九、地質
- 五十、地勢
- 五十一、地質
- 五十二、地勢
- 五十三、地質
- 五十四、地勢
- 五十五、地質
- 五十六、地勢
- 五十七、地質
- 五十八、地勢
- 五十九、地質
- 六十、地勢
- 六十一、地質
- 六十二、地勢
- 六十三、地質
- 六十四、地勢
- 六十五、地質
- 六十六、地勢
- 六十七、地質
- 六十八、地勢
- 六十九、地質
- 七十、地勢
- 七十一、地質
- 七十二、地勢
- 七十三、地質
- 七十四、地勢
- 七十五、地質
- 七十六、地勢
- 七十七、地質
- 七十八、地勢
- 七十九、地質
- 八十、地勢
- 八十一、地質
- 八十二、地勢
- 八十三、地質
- 八十四、地勢
- 八十五、地質
- 八十六、地勢
- 八十七、地質
- 八十八、地勢
- 八十九、地質
- 九十、地勢
- 九十一、地質
- 九十二、地勢
- 九十三、地質
- 九十四、地勢
- 九十五、地質
- 九十六、地勢
- 九十七、地質
- 九十八、地勢
- 九十九、地質
- 一百、地勢

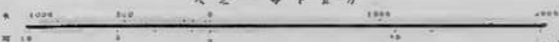


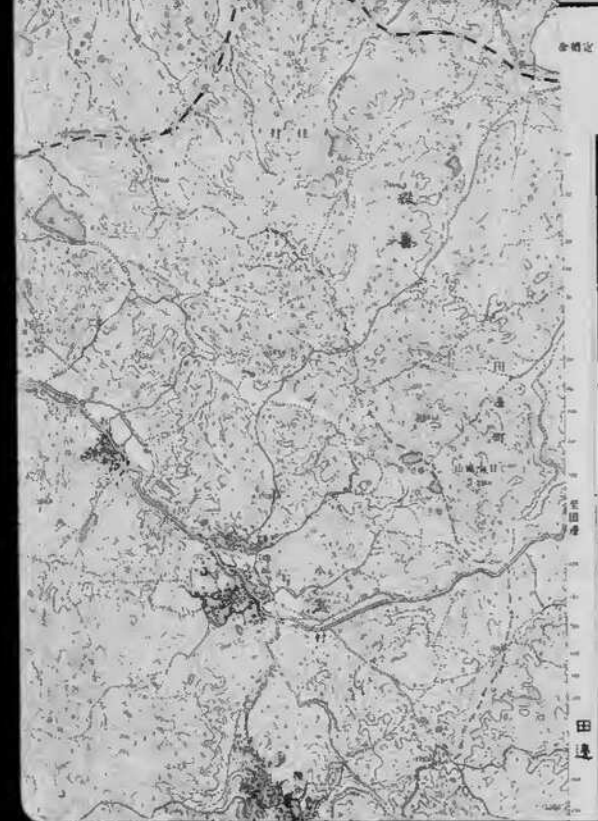


凡 例

 道路  
 車站  
 停車

尺之一寸五厘



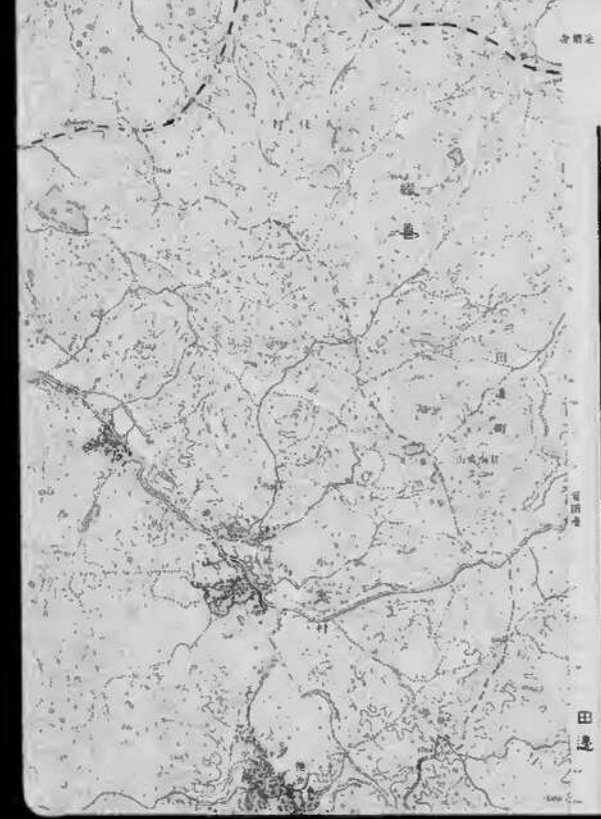


 道路  
 車站  
 停車

此圖係根據  
 大正十一年  
 地籍圖及  
 交通圖等  
 繪製而成  
 其間如有  
 錯誤之處  
 尚祈  
 鑒察

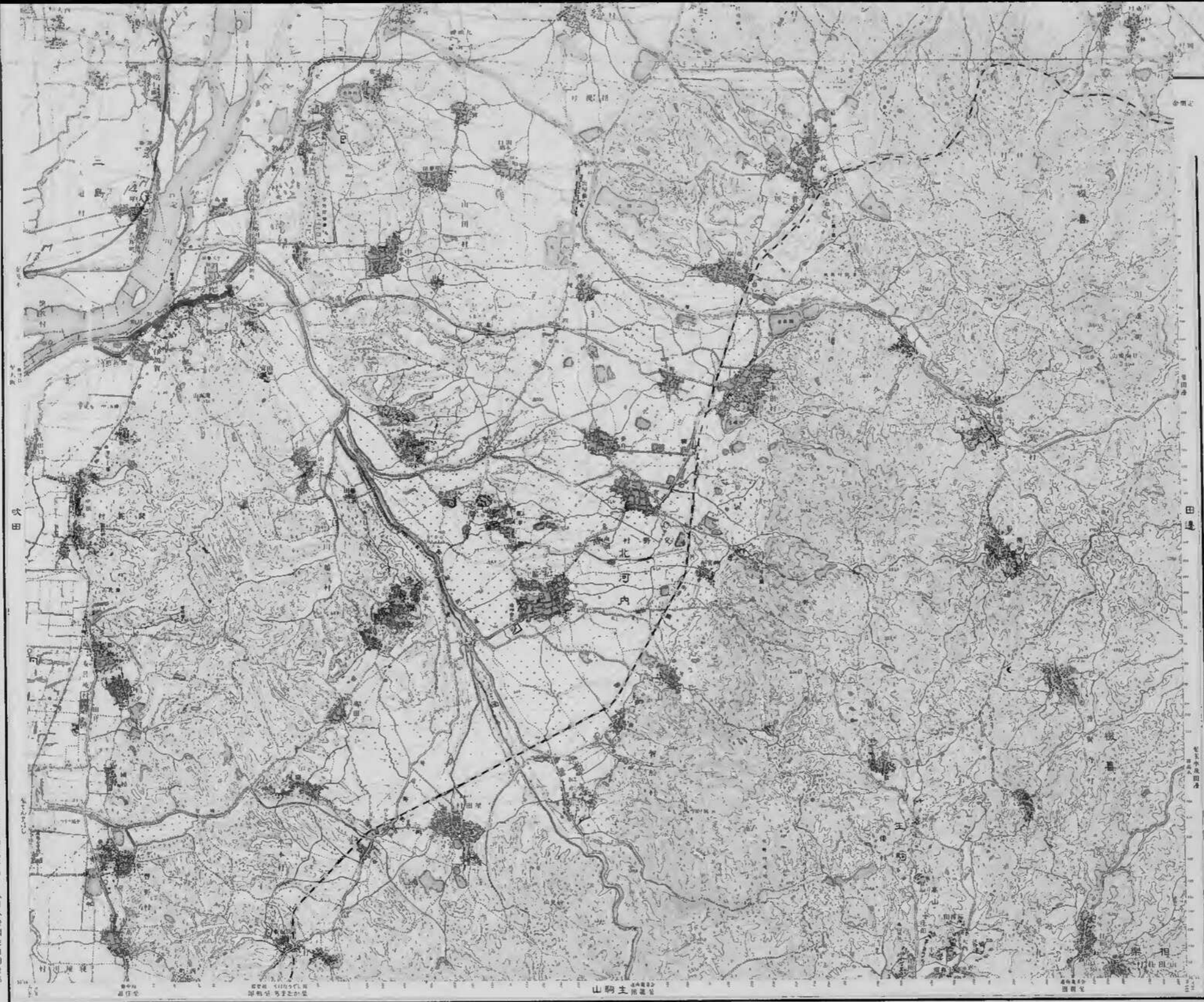


此圖係明治二十九年  
 繪成其時之國勢  
 與今日之國勢  
 頗有出入  
 其詳見  
 本館所藏  
 之  
 地圖  
 一覽  
 表  
 中  
 之  
 詳  
 載  
 也



此處係  
 一  
 面  
 田

Legend and scale information on the left side of the map, including symbols for various geographical features and a scale bar at the bottom.



Vertical text on the right side of the map, likely providing publication or archival details.

裏面白紙 (Reverse white paper)

# 運輸營業收支概算書

京阪神單軌高架鐵道

軌間單軌 動力電力

區間 京都大阪神戶間 總延長 復線 五十五哩

項	數量金額割合	摘	要
旅客人員	8668750000	全線一日往復二萬三千七百五十八乘車スルモノトシテ	
貨銀收入	7151718750	一哩乘車賃金壹錢五厘トシテ	
收入合計	7151718750	一ヶ年總收入高	
營業費	2860687500	一ヶ年總支出高	
利益金	4291031250		
建設費ニ對スル利益金割合		即チ一割四分強	





京阪神單軌高架鐵道株式會社假定款

第一章 總則

第壹條 當會社ハ京阪神單軌高架鐵道株式會社ト稱シ本社ヲ大阪市ニ置ク

第貳條 當會社ハ運輸業並ニ附帶事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

第參條 當會社ノ資本金參千萬圓トス

第四條 當會社ノ公告ハ所轄區裁判所ノ公告ヲ爲ス新聞紙ニ掲載ス

第二章 株式

第五條 當會社ノ株式ヲ六拾萬株ニ分テ壹株ノ金額ヲ金五拾圓トス

第六條 當會社ノ株式ハ記名式トシ壹株券拾株券五拾株券壹百株券貳百株券ノ五種トス

第七條 株式ノ讓渡ニヨリ名義書換ヲ請求スルモノハ當會社所定ノ書式ニヨリ雙方連署ノ書面ニ其株券ヲ添ヘ差出スヘシ

相續遺贈又ハ法律上ノ手續ニヨル株式取得ノ名義書換ヲ請求スルモノハ當會社所定ノ書式ニヨリ且ツ取得ヲ證スヘキ書面ニ其株券ヲ添ヘ差出スヘシ

本條ノ場合ニ於ケル名義書換手数料ハ一枚ニ付金貳拾錢トス

第八條 株券ノ毀損又ハ分合ノ爲メ新株券ノ交附ヲ請求<sup>スル</sup>モノハ當會社所定ノ書式ニヨリ其株券ヲ添ヘ差出スヘシ

株券ノ喪失ニヨリ再發行ヲ請求スルモノハ當會社所定ノ書式ニヨリ其請求ヲ爲スヘシ會社ハ其事實ノ證明ヲ得タル後請求者ノ費用ヲ以テ其旨ヲ三日以上公告シ尙三十日(經)ヲテ他ヨリ故障ノ申出ナキトキハ新株券ヲ交附ス

本條ノ場合ニ於ケル再發行ノ手数料ハ壹枚ニ付金壹圓トス

第九條 株主ハ住所及印鑑ヲ當會社ニ届ケ置クヘシ住所氏名又ハ印鑑ヲ變更

シタル場合ニ於テモ亦同シ

外國居住ノ株主ハ日本國內ニ假住所又ハ代理人ヲ定メ當會社ニ届出ツヘシ

第拾條 毎決算期最終日ノ翌日ヨリ其期ノ定時總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止ス

### 第三章 株金拂込

第拾壹條 當會社第壹回株金拂込ハ壹株ニ付金五圓トシ第貳回以後ノ時期方法金額等ハ取締役會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第拾貳條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ其拂込當日迄金壹百圓ニ付日歩金四錢ノ割合ノ遅延利息及爲メニ生シタル費用ヲ賠償セシム

### 第四章 役員

第拾參條 當會社ニ左ノ役員ヲ置ク

取締役 拾名以内

監査役 參名以内

以上ノ役員ヲ重役ト稱ス

取締役ハ互選ヲ以テ社長壹名専務取締役壹名常務取締役貳名以内ヲ置クコトヲ得

取締役會ノ決議ニヨリ顧問相談役ヲ置クコトヲ得

第拾四條 取締役及監査役ハ株主總會ニ於テ當會社株式五百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ之ヲ選任ス

得票同數ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第拾五條 役員ノ任期ハ取締役參ケ年監査役貳ケ年トス

第拾六條 取締役カ其任期中監査役ニ供託スヘキ株數ハ五百株トス

第拾七條 社長ハ株主總會及取締役會ノ議長トナリ議事ヲ整理ス

第拾八條 社長ハ當會社ヲ代表シ株主總會及取締役會ノ決議ニ基キ業務執行ノ

責ニ任ス

第拾九條 取締役ハ取締役會ヲ開キ定款及株主總會ノ議決ニ基キ社務ニ關スル重要ノ事項ヲ議決ス

第廿條 重役ノ報酬ハ株主總會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第廿壹條 重役中缺員ヲ生シタル時ハ臨時株主總會ヲ開キ補缺選舉ヲ爲ス其補缺員ノ任期ハ前任者ノ殘期トス但法定ノ員數ヲ缺カス現任者ニ於テ業務ニ差支ナシト認ムルトキハ次ノ改選期迄補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得

#### 第五章 株主總會

第廿貳條 株主總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トス定時總會ハ毎年六月及十二月之ヲ招集ス

第廿參條 株主總會ノ議事ハ法律ニ反對ノ規定アル場合ノ外出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム

第廿四條 株主總會ノ議長ハ社長之ニ任ス社長事故アルトキハ他ノ取締役之ヲ代理シ全員故障アルトキハ他ノ株主中ヨリ之ヲ選任ス

第廿五條 株主ハ代理人ヲ以テ其議決權ヲ行使スルコトヲ得ヘシト雖モ株主ニアラサルモノヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得ス

第廿六條 株主總會ノ議事ハ其要領ヲ記載シ議長及出席者株主二名以上連署シテ會社ニ保存スヘシ

#### 第六章 計算

第廿七條 當會社ノ計算期ハ每六ヶ月トシ壹ヶ年ヲ六月ヨリ十一月迄十二月ヨリ五月迄ノ二期ニ分ツ

第廿八條 毎決算期間ニ生シタル總收入金ヨリ諸稅營業上一切ノ損失ヲ控除シタル殘額ヲ以テ純益金トシ左ノ順序ニ從ヒ分配ス

一 法定積立金

百分ノ五以上

- 二 別途積立金 百分ノ五以上
- 三 役員賞與金 百分ノ拾以内
- 四 株主配當金 若 干
- 五 後期繰越金 若 干

第廿九條 株主配當金ハ各計算期末日ノ株主ニ之ヲ配當ス

附 則

第卅條 當會社第壹回株金拂込ノ翌日ヨリ開業ノ前日迄拂込金ニ對シ一ヶ年百分ノ五以下ノ利息ヲ配當ス

第卅壹條 當會社第壹回拂込金額指定ノ期間内ニ拂込マザルトキハ株式申込證據金ハ會社ノ所得トシ之ヲ返還セサルモノトス

第卅貳條 當會社ノ負擔ニ歸スヘキ創立費用ハ金參拾萬圓以内トス

第卅參條 當會社主唱者並ニ功勞者ニ對シ報酬ヲ贈與スルモノトス其額ハ創立

總會ニ於テ定ム

第卅四條 當會社發起人ノ住所氏名左ノ如シ

東京新豊多摩郡井荻町大字上萩窪八五  
 佐野 有馬 賴 富  
 東京市日本橋區通リ三丁目番地十三番地  
 米屋 邦之助  
 大阪市天王寺区西高津中寺町十二番地  
 法學士 高平 賢次  
 大阪府北河内郡寝屋川市河内  
 代内 邦三郎  
 大阪市西淀川区大和田町一丁目三番地  
 代内 邦三郎

星兼次

兵庫縣武庫郡大社村森貝森松代内森兼雄下四百番地

早川政太郎

兵庫縣淡路郡大社村森貝代内森兼雄

長野 占守

東京府代内森兼雄高田町雜司ヶ谷三一〇

小林 常中

東京府在野町日蓮町中又黒八八之三代内森兼雄

本間 恒治

東京府中野区至道町所亦六番地

松本 忠多

東京府社務所窪町十九番地

尾崎 雪盛

東京府日本橋区北新町貳番地

色川 邦治

東京府日本橋区本小田町貳番地

鶴飼 良助

東京府日本橋区本町壹丁目四番地

波島 重太郎

東京府日本橋区本町壹丁目四番地

石井 清三

東京府日本橋区本町壹丁目三

仲佐安藏

東京市東郷区佃島町十六番地

佃島町

東京市東郷区南飯田町七番地

南飯田町

東京市京橋区築地三丁目九番地

貝塚啓一郎

東京市豊多摩区新井町五丁目一七番地

土方雄志

東京市牛込区三丁目九番地

大野忠彦

東京市北豊島区新井町三丁目一五番地

川口丙三郎

東京市牛込区市兵衛町七十九番地

有松 暉

東京市花形区新井町五丁目五番地

河野登一

東京市北豊島区新井町四丁目千九番地

吉原信吉

神奈川県浦及区三丁目二番地

角田俊雄

埼玉県北足立郡浦和町四九九

外藤於莫

重復

東京府荏原郡新井町新井五十三

横地素子

東京府荏原郡新井町新井五十三

神奈川縣足柄下郡大井町大井五十三

比呂幸吉

東京府墨田區錦町錦町一七八

藤元

大阪府天王寺区船場船場六八

行松幹治

大阪府中河内郡布衣町布衣町三七八

木村作

神戸市湊川町三丁目二八

小山将次郎

東京市本郷区駒込林町一七九

平野精一

東京市牛込区戸山戸山五五

小笠原金三郎

東京府荏原郡大井町大井五十三

局中口長太郎

神奈川縣鎌倉市小倉三九五

進藤光之

東京府荏原郡新井町新井五十三

三根忠作

白紙印字 林澤

再藤義雄

昭和四年一月十日作成

再藤義雄

昭和四年一月十日





裏面白紙

委任狀謄本

三橋八重公

本業委任狀八橋和四身四月十日付大政府廳  
經由鐵道大臣高松政神單和島繁鐵道  
許設免許申請書三添付之八重委任狀原本

謄本也

京阪神單和島繁鐵道

發起人總代

内務省義權



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京都千代田区千代田 千代田区千代田 千代田区千代田 千代田区千代田

姓名 有馬 頼 亨

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



印 收  
細 入

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

收入  
細印

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名 米倉 邦之助

右 謄 本 也

昭和五年五月一日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 大阪府天王寺区西馬場中町十二番地

姓名

高平賢次



右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

印 收  
細 入

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 大阪府北河内郡菟原町北

姓名

内藤 義雄

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 大塚市大塚三丁目九番地  
姓名 星 義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 兵庫支那村森松ノ下番地

姓名

早川 政太郎

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄

收 入  
印 細



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所兵庫縣西宮市本町

姓名

長野台 字

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義

雄



收 入  
印 細



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住 所

姓名

小林常八

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義

雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京都下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

内藤 恒治

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄

雄



印 收  
細 入

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
姓名 内藤義雄

内藤義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内藤義雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所

姓名

尾崎昌成

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

内藤 義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

### 委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

新 飼 良 升

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市日本橋區蛸壳町一丁目番地

姓名 波崎重次郎

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京都千代田区千代田 藤野野矢

姓名 石井浅太郎

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
姓名 内藤義雄

仲佐 存 攝

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄

收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 京市千代田区千代田

姓名

細川市太郎

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義

雄



印 收  
細 入

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
印細

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

内藤義雄

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

内藤義雄



印 收  
細 入

委 任 狀

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代  
理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人  
住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
姓名 内藤 義雄  
具 塚 啓 一 印

右 謄 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
印細

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
姓名 内藤 義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内藤 義雄



裏面白紙

印 收  
細 入

委 任 狀

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代  
理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市牛込区山手十五番地  
姓名 天野 勉藏

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

印 收  
細 入

委 任 状

一 拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代  
理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脫退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住

所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

川口 勇三郎

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
印細

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所東京市牛車水三丁目九番地

姓名

有松 輝

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義

雄





委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
細印

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名 内藤 義雄

河野 益一

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京府北豊島郡荒川町大字高田

姓名 千原世四郎

吉倉清太郎

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

印 收  
細 入

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人  
住所 神奈川縣三浦郡延子町五反三三二  
姓名 内藤 俊雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

内 藤 義 雄

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代



裏面白紙

委任状

一 拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
細印

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人  
住所 東京都北區立花浦和所四四九九  
姓名 武井於 義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
印細

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
姓名 横地 義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
細印

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人  
住所 神奈川縣足柄下郡大窪村板橋六三  
姓名 内野 幸平

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任狀

一 拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

印 收  
細 入

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

横尾 千三

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義

雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 大阪府天王寺区三軒家

姓名

行 松 幹 次 郎

同

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

印 收  
細 入

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所大阪府中河内郡布佐町荻原西三三ノ六

姓名

木村作義

右 膳 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一 拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 神戸市濠河町二百三十八

姓名

小山 粹次郎

印

右 膳 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄

收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

印 收  
細 入

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市本郷区三軒之木一丁目一七五

姓名

平野 精

印

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 東京市牛込區戸山町十五

姓名 小笠原金三郎

剛

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



收 入  
印 細

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
印細

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

姓名

内藤 義雄

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄

裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

收入  
印細

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人

住所 神奈川縣鎌倉市三ノ宮  
姓名 進藤光之助

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地

京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代

内 藤 義 雄



裏面白紙

委任状

一拙者儀内藤義雄ヲ以テ發起總代人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理セシム

- 一、京阪神單軌高架鐵道敷設免許申請ニ關スル書類ニ代印加除訂正ノ行爲
- 二、線路設計ノ變更及ビ發起人ノ加入脱退申請ニ關スル行爲
- 三、會社設立ニ至ルマテ各官廳ニ提出ス可キ各書類ノ代印其他一切ノ手續行爲
- 四、必要ニ應ジ復代理人ヲ撰定シ以上ノ行爲ヲ代行セシムル行爲

右代理委任候也

昭和四年五月拾日

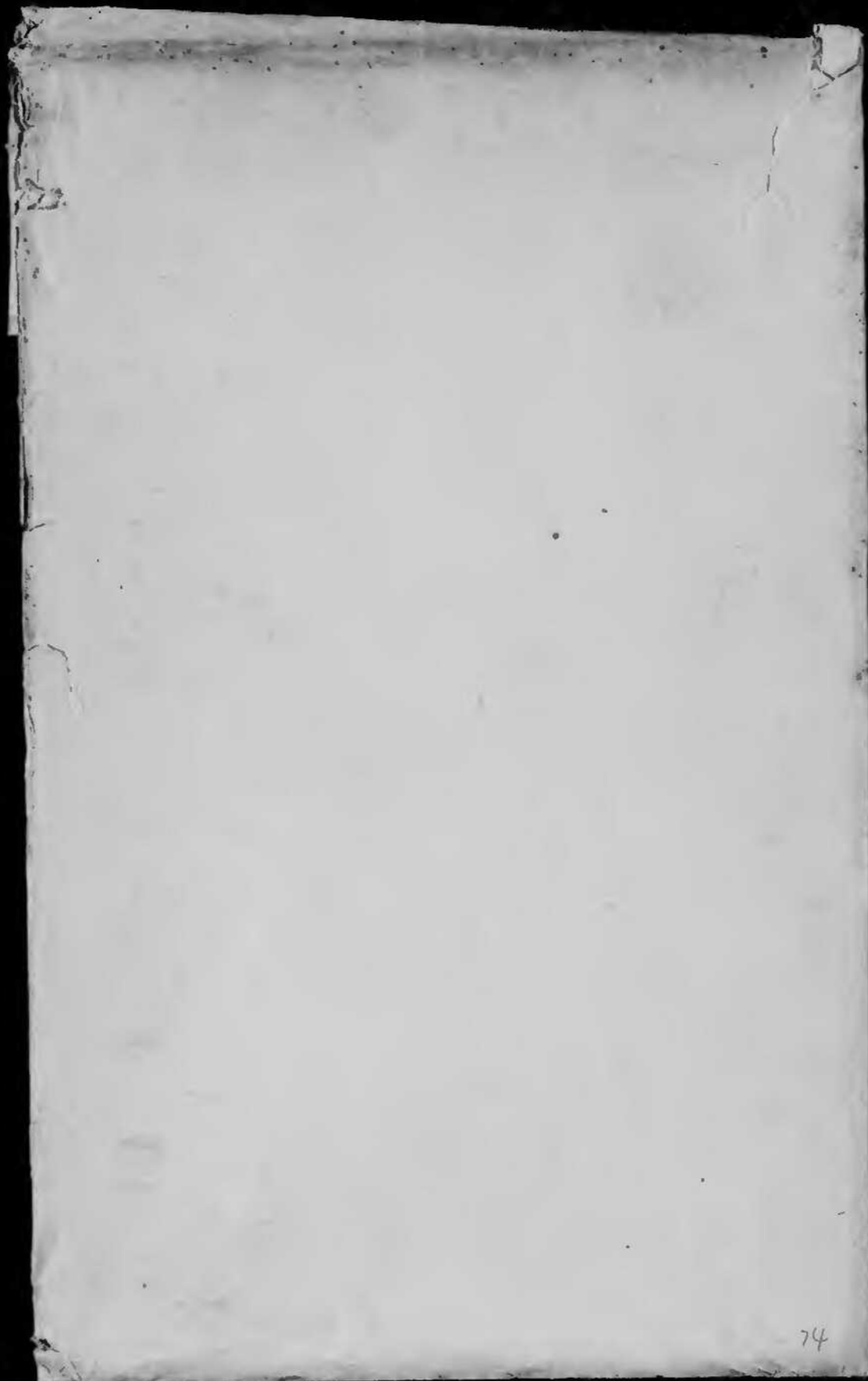
京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人  
 住所 東京 台東區 本町三丁目四二五  
 姓名 三根 由心 作

右 贍 本 也

昭和五年五月一日

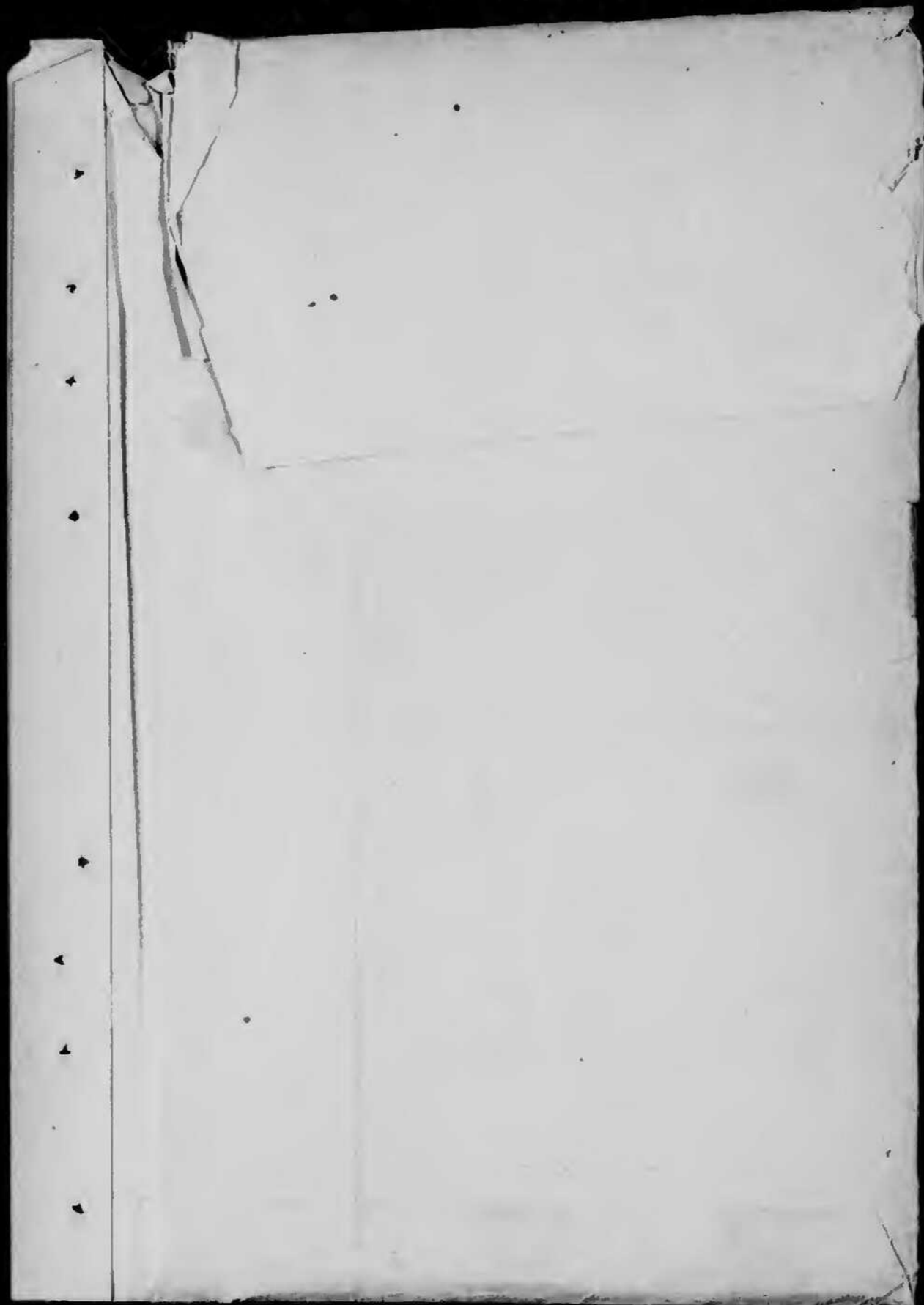
東京市下谷區谷中初音町三丁目九番地  
 京阪神單軌高架鐵道株式會社企業發起人總代  
 内 藤 義 雄

印 收  
細 入



74



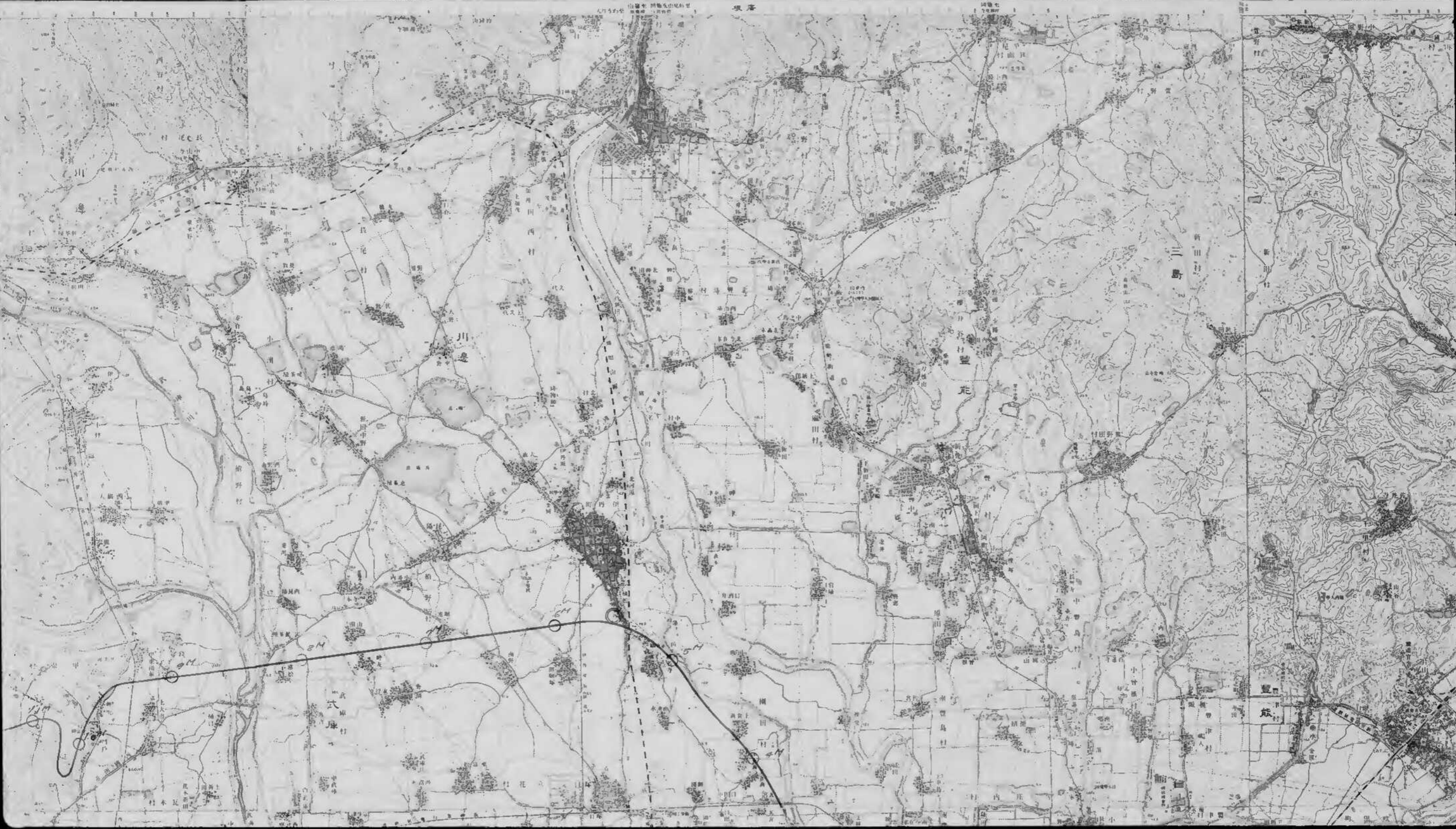




此圖係根據  
昭和十一年  
地籍調査  
地籍圖  
縮尺 1:50,000

# 伊丹

伊丹市  
伊丹市役所  
伊丹市立第一中学校  
伊丹市立第二中学校  
伊丹市立第三中学校  
伊丹市立第四中学校  
伊丹市立第五中学校  
伊丹市立第六中学校  
伊丹市立第七中学校  
伊丹市立第八中学校  
伊丹市立第九中学校  
伊丹市立第十中学校  
伊丹市立第十一中学校  
伊丹市立第十二中学校  
伊丹市立第十三中学校  
伊丹市立第十四中学校  
伊丹市立第十五中学校  
伊丹市立第十六中学校  
伊丹市立第十七中学校  
伊丹市立第十八中学校  
伊丹市立第十九中学校  
伊丹市立第二十中学校  
伊丹市立第二十一中学校  
伊丹市立第二十二中学校  
伊丹市立第二十三中学校  
伊丹市立第二十四中学校  
伊丹市立第二十五中学校  
伊丹市立第二十六中学校  
伊丹市立第二十七中学校  
伊丹市立第二十八中学校  
伊丹市立第二十九中学校  
伊丹市立第三十中学校  
伊丹市立第三十一中学校  
伊丹市立第三十二中学校  
伊丹市立第三十三中学校  
伊丹市立第三十四中学校  
伊丹市立第三十五中学校  
伊丹市立第三十六中学校  
伊丹市立第三十七中学校  
伊丹市立第三十八中学校  
伊丹市立第三十九中学校  
伊丹市立第四十中学校  
伊丹市立第四十一中学校  
伊丹市立第四十二中学校  
伊丹市立第四十三中学校  
伊丹市立第四十四中学校  
伊丹市立第四十五中学校  
伊丹市立第四十六中学校  
伊丹市立第四十七中学校  
伊丹市立第四十八中学校  
伊丹市立第四十九中学校  
伊丹市立第五十中学校  
伊丹市立第五十一中学校  
伊丹市立第五十二中学校  
伊丹市立第五十三中学校  
伊丹市立第五十四中学校  
伊丹市立第五十五中学校  
伊丹市立第五十六中学校  
伊丹市立第五十七中学校  
伊丹市立第五十八中学校  
伊丹市立第五十九中学校  
伊丹市立第六十中学校  
伊丹市立第六十一中学校  
伊丹市立第六十二中学校  
伊丹市立第六十三中学校  
伊丹市立第六十四中学校  
伊丹市立第六十五中学校  
伊丹市立第六十六中学校  
伊丹市立第六十七中学校  
伊丹市立第六十八中学校  
伊丹市立第六十九中学校  
伊丹市立第七十中学校  
伊丹市立第七十一中学校  
伊丹市立第七十二中学校  
伊丹市立第七十三中学校  
伊丹市立第七十四中学校  
伊丹市立第七十五中学校  
伊丹市立第七十六中学校  
伊丹市立第七十七中学校  
伊丹市立第七十八中学校  
伊丹市立第七十九中学校  
伊丹市立第八十中学校  
伊丹市立第八十一中学校  
伊丹市立第八十二中学校  
伊丹市立第八十三中学校  
伊丹市立第八十四中学校  
伊丹市立第八十五中学校  
伊丹市立第八十六中学校  
伊丹市立第八十七中学校  
伊丹市立第八十八中学校  
伊丹市立第八十九中学校  
伊丹市立第九十中学校  
伊丹市立第九十一中学校  
伊丹市立第九十二中学校  
伊丹市立第九十三中学校  
伊丹市立第九十四中学校  
伊丹市立第九十五中学校  
伊丹市立第九十六中学校  
伊丹市立第九十七中学校  
伊丹市立第九十八中学校  
伊丹市立第九十九中学校  
伊丹市立第一百中学校



# 平面圖 其壹

昭和二十六年八月八日 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

## 田 吹



陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

昭和二十六年八月八日 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部  
 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部



- 注記 地形
- 標高 1000
- 標高 500
- 標高 200
- 標高 100
- 標高 50
- 標高 20
- 標高 10
- 標高 5
- 標高 2
- 標高 1
- 標高 0
- 標高 -1
- 標高 -2
- 標高 -3
- 標高 -4
- 標高 -5
- 標高 -6
- 標高 -7
- 標高 -8
- 標高 -9
- 標高 -10
- 標高 -11
- 標高 -12
- 標高 -13
- 標高 -14
- 標高 -15
- 標高 -16
- 標高 -17
- 標高 -18
- 標高 -19
- 標高 -20
- 標高 -21
- 標高 -22
- 標高 -23
- 標高 -24
- 標高 -25
- 標高 -26
- 標高 -27
- 標高 -28
- 標高 -29
- 標高 -30
- 標高 -31
- 標高 -32
- 標高 -33
- 標高 -34
- 標高 -35
- 標高 -36
- 標高 -37
- 標高 -38
- 標高 -39
- 標高 -40
- 標高 -41
- 標高 -42
- 標高 -43
- 標高 -44
- 標高 -45
- 標高 -46
- 標高 -47
- 標高 -48
- 標高 -49
- 標高 -50
- 標高 -51
- 標高 -52
- 標高 -53
- 標高 -54
- 標高 -55
- 標高 -56
- 標高 -57
- 標高 -58
- 標高 -59
- 標高 -60
- 標高 -61
- 標高 -62
- 標高 -63
- 標高 -64
- 標高 -65
- 標高 -66
- 標高 -67
- 標高 -68
- 標高 -69
- 標高 -70
- 標高 -71
- 標高 -72
- 標高 -73
- 標高 -74
- 標高 -75
- 標高 -76
- 標高 -77
- 標高 -78
- 標高 -79
- 標高 -80
- 標高 -81
- 標高 -82
- 標高 -83
- 標高 -84
- 標高 -85
- 標高 -86
- 標高 -87
- 標高 -88
- 標高 -89
- 標高 -90
- 標高 -91
- 標高 -92
- 標高 -93
- 標高 -94
- 標高 -95
- 標高 -96
- 標高 -97
- 標高 -98
- 標高 -99
- 標高 -100







此圖係在石印石印... 比例尺... 1:50,000... 地形圖大成... 第七卷... 十二圖



部官戸神

西神武 關東縣 神戶市

地形	
○	海抜 500 以上
○	海抜 400 以上
○	海抜 300 以上
○	海抜 200 以上
○	海抜 100 以上
○	海抜 50 以上
○	海抜 0 以上
○	海抜 0 以下
○	海抜 100 以下
○	海抜 200 以下
○	海抜 300 以下
○	海抜 400 以下
○	海抜 500 以下
○	海抜 600 以下
○	海抜 700 以下
○	海抜 800 以下
○	海抜 900 以下
○	海抜 1000 以下
○	海抜 1100 以下
○	海抜 1200 以下
○	海抜 1300 以下
○	海抜 1400 以下
○	海抜 1500 以下
○	海抜 1600 以下
○	海抜 1700 以下
○	海抜 1800 以下
○	海抜 1900 以下
○	海抜 2000 以下
○	海抜 2100 以下
○	海抜 2200 以下
○	海抜 2300 以下
○	海抜 2400 以下
○	海抜 2500 以下
○	海抜 2600 以下
○	海抜 2700 以下
○	海抜 2800 以下
○	海抜 2900 以下
○	海抜 3000 以下
○	海抜 3100 以下
○	海抜 3200 以下
○	海抜 3300 以下
○	海抜 3400 以下
○	海抜 3500 以下
○	海抜 3600 以下
○	海抜 3700 以下
○	海抜 3800 以下
○	海抜 3900 以下
○	海抜 4000 以下
○	海抜 4100 以下
○	海抜 4200 以下
○	海抜 4300 以下
○	海抜 4400 以下
○	海抜 4500 以下
○	海抜 4600 以下
○	海抜 4700 以下
○	海抜 4800 以下
○	海抜 4900 以下
○	海抜 5000 以下
○	海抜 5100 以下
○	海抜 5200 以下
○	海抜 5300 以下
○	海抜 5400 以下
○	海抜 5500 以下
○	海抜 5600 以下
○	海抜 5700 以下
○	海抜 5800 以下
○	海抜 5900 以下
○	海抜 6000 以下
○	海抜 6100 以下
○	海抜 6200 以下
○	海抜 6300 以下
○	海抜 6400 以下
○	海抜 6500 以下
○	海抜 6600 以下
○	海抜 6700 以下
○	海抜 6800 以下
○	海抜 6900 以下
○	海抜 7000 以下
○	海抜 7100 以下
○	海抜 7200 以下
○	海抜 7300 以下
○	海抜 7400 以下
○	海抜 7500 以下
○	海抜 7600 以下
○	海抜 7700 以下
○	海抜 7800 以下
○	海抜 7900 以下
○	海抜 8000 以下
○	海抜 8100 以下
○	海抜 8200 以下
○	海抜 8300 以下
○	海抜 8400 以下
○	海抜 8500 以下
○	海抜 8600 以下
○	海抜 8700 以下
○	海抜 8800 以下
○	海抜 8900 以下
○	海抜 9000 以下
○	海抜 9100 以下
○	海抜 9200 以下
○	海抜 9300 以下
○	海抜 9400 以下
○	海抜 9500 以下
○	海抜 9600 以下
○	海抜 9700 以下
○	海抜 9800 以下
○	海抜 9900 以下
○	海抜 10000 以下
○	海抜 10100 以下
○	海抜 10200 以下
○	海抜 10300 以下
○	海抜 10400 以下
○	海抜 10500 以下
○	海抜 10600 以下
○	海抜 10700 以下
○	海抜 10800 以下
○	海抜 10900 以下
○	海抜 11000 以下
○	海抜 11100 以下
○	海抜 11200 以下
○	海抜 11300 以下
○	海抜 11400 以下
○	海抜 11500 以下
○	海抜 11600 以下
○	海抜 11700 以下
○	海抜 11800 以下
○	海抜 11900 以下
○	海抜 12000 以下



神戶港  
武庫山  
大飯川

五千分の一  
500000

全図



大 阪 府

大 阪 府

大 阪

例	凡
——	—— 路線測豫
○	—— 標 哩
○	—— 堤 車 停



全圖定



全圖



全圖



此圖係根據大正十一年地籍調査資料作成  
比例尺 1:50,000  
凡屬大正十一年以前之測量資料均以此圖為準  
凡屬大正十一年以後之測量資料均以此圖為準

生駒山  
此山係由生駒郡生駒町與大東郡生駒町所共有  
其最高點在生駒町境內

此圖係根據大正十一年地籍調査資料作成  
比例尺 1:50,000  
凡屬大正十一年以前之測量資料均以此圖為準  
凡屬大正十一年以後之測量資料均以此圖為準

裏面白紙